
一人の泣かない女。

ますの ずず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一人の泣かない女。

【Nコード】

N5688J

【作者名】

ますの ずず

【あらすじ】

泣けないの、わたし。あなたと居た昔が恋しい。・・・返事は要らない、書かないで。

(前書き)

満月の「一つだけ、誇れるもの」を読んで頂くと50度ほど、見方が変わるかもしれません。

手紙形式のショートショートです。

手紙をありがとう。とても嬉しかった。唐突なお願いだっただから、聞いてもらえなくてもしょうがないと思っていたの。それなのにわざわざ誇れるものを答えてくれてありがとう。あなたは本当にいい人。悪く言うならお人よしね。

ところで、わたしの話を聞いて欲しいの。この間のあなたの手紙で気付いたんだけど。

わたし泣けなくなっちゃった。

何でかしらね。昔はすごい泣き虫だったのに。

あなたにもたくさん泣き止ませてもらった。あの背中をさする動きはまだ覚えてるの。優しい手つきで躊躇もしない、”さする”よ”こする”というかんじで、でも痛くはなかった。

あなたは手加減というものを知っているのかしら。

いえ、知らなくてもいいんじゃない？あなたは知らなくても生きていけるから。だって、手加減のない優しさはそれだけで人を魅了するものだと、わたしは思うから。それともわたしの言うことなんて意にも介さないのかしらね。

それはそれでいいわ。あなたらしいし、昔わたしの憧れたあなたのかっこよさはそこにあるもの。

昔ね。まだときはあまり経ってないけどあなたがわたしのそばに居た期間より、居ない期間のほうが長く感じる。でも許して欲しいの。許す、許さないの話ではないけど。あなたが恋しいなんて言うつもりはないのだけど（本当なの、信じて）なんだかあなたはわたしの生活の一部であったような気がする。だから欠けた気がする。・心の中心が。それも中心部。ぼっかり、ドーナッツの穴みたいなのが。

泣かなくても、生きてはいける。

最初はそう思っていた。暢気だった・・・今となっては恥ずかしいのだけだ。

でも、怖くなった。

このままわたしは一生泣かないのかなあ、泣けないのかなあ。親が死んでも痛い思いをしても映画で感動しても失恋しても、わたしは泣けないままなのかなあ・・・。

・・・恐ろしい。唐突に悟ったの。

泣き虫だったわたしが泣けなくなった理由は何だと思う？あなたと違って新しい環境に飛び込んだわけではないし、何か大きく心を揺さぶるようなことがあったかといえは無いし・・・。

返事はいい。

あなたからの返事が怖いから。

六月三日

あなたの友達

追伸 随分自分のことばかりの手紙になってしまった、ごめんなさい。あなたが元気そうで安心した。

(後書き)

ありがとうございました。

感想をいただけると嬉しいです。ついでにブログ化しつつある活動報告も御覧下さい。

これからも頑張ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5688j/>

一人の泣かない女。

2010年10月15日23時04分発行